



ようこそ浦幌へ

青少年交流

浦幌町と友好の町絆協定を結んでいる岩手県洋野町から、8月4日（金）、青少年交流団がやってきました。

青少年交流は一昨年から行われていますが、これまでは浦幌町側から訪問しており、受け入れはこれが初めてです。

今回は洋野町の小学生11人、中学生7人、事務局の大人4人の22人が来町しました。

歓迎交流会には浦幌町の小学生11人、中学生3人も参加したほか、滞在期間中に多くの小学生が交流を図りました。3日間の日程で、2町間でながらく交流してきたパークゴルフや、日立建機浦幌試験場の見学、豊北原生花園や昆布刈石海岸で自然を体感するなどし、体験を通じてお互いに友情を深めました。

友好の町・洋野町から22人初来町



パークゴルフ交流「ナイスショット」



海岸で一緒に大はしゃぎ

浦幌町と友好の町絆協定締結
洋野町(岩手県)だより

「海洋教育こどもサミットを開催」



児童生徒が研究の成果を発表したポスターセッション

「第2回海洋教育こどもサミット inひろの(町教育委員会、東京大海洋アライアンス海洋教育促進研究センターほか主催)」が8月9日、町民文化会館で開かれました。サミットには、町内の小中学校と高校計14校のほか、宮城県と山形県の計13校から、児童生徒や教員など350人が参加しました。

各校での海洋教育の取り組みについて実践発表するポスターセッションには23校が参加。それぞれの地域の自然に関する活動や研究結果について、工夫を凝らして発表しました。

続いて行われた「海の哲学対話」では、児童生徒が12のグループに分かれ、海をテーマに発想豊かな意見を出し合い、交流を深めました。

町は、海洋教育促進研究拠点として同センターと協定を締結し、海洋教育に取り組んでいます。サミットは、東北各地の児童生徒が実践発表や意見交換を通じて、海洋教育に対する意欲と学びの質の向上を図るため開催されました。

(洋野町企画課広聴広報係主事 堀岡大介)



自己紹介カードで互いを知る



すぐに友達になったよ



歓迎交流会で挨拶